

# イギリス政治の現況と展望 - 5月の統一地方選から7月の総選挙へ -

イギリス政治の支持構造はEU離脱をめぐる2016年から19年の混乱を経て大きく変容した。その恩恵を受けた国政与党・保守党の優位は2019年から21年にかけて続いたものの、その後、急落した。同党はいまや、ライバルの労働党に世論調査の支持率で大差をつけられ、14年あまりの長期にわたり維持した政権を次の総選挙で手放すことが決定的となっている。一方で、世論調査どおりの結果とならないのがイギリス政治の特徴である。この5月に実施された統一地方選の分析などを踏まえ、7月初めの実施が決まった総選挙に向けたイギリスの有権者の支持の現況をその特徴に注目しつつ考える。

報告： 若松 邦弘 氏  
東京外国語大学 教授

司会： 池田 和希 氏  
東京外国語大学 特別研究員

オンライン形式 (ZOOM)  
一般公開 (主に研究者・実務家向け)

お申込みはこちら▶  
6月12日(水)午前10時まで



主催・東京外国語大学 国際関係研究所  
お問合せ先・東京外国語大学 国際関係研究所事務局  
iir-office@tufs.ac.jp

2024  
6/13  
(木)

17:00-18:30